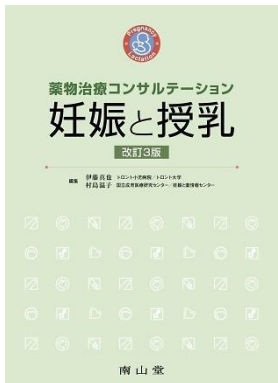


# eBookアラカルト 病院薬剤部パッケージのご案内

医療施設様は、年間購読価格合計¥100,000（税別）以上でご契約が可能です。

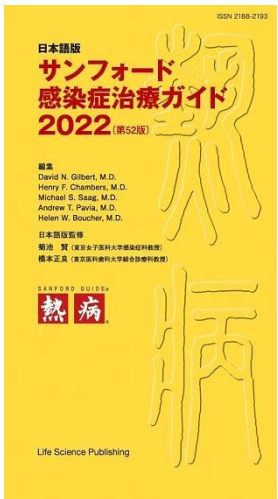
※年間購読価格：199床以下、200～399床、400～599床、600床以上の順に記載（病床数別となります。）



**薬物治療コンサルテーション 妊娠と授乳 第3版**  
伊藤 真也 村島 温子（編）  
出版社：南山堂  
印刷版発行年月：2021/04  
年間購読価格：¥8,000（病床数によらず）  
本書は、妊婦・授乳婦の薬物治療にかかわるすべての医療従事者から、臨床で即戦力となる書籍として高い支持を得てきた。改訂3版ではこれまでの項目をまとめ直し、医薬品情報をアップデートするとともに総合評価を見直した。1,200種類以上の薬剤が記載されており、本領域には欠かせない一冊である。



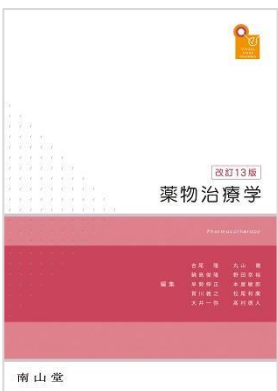
**妊婦・授乳婦の薬 改訂2版**  
杉本 充弘（編著）  
出版社：中外医学社  
印刷版発行年月：2018/03  
年間購読価格：¥7,260、¥7,920、  
¥9,900、¥11,880  
妊婦・授乳婦への薬剤投与の際のレファレンスとして、薬剤の基本的な選択基準をわかりやすく解説。実地臨床の場に最適だと好評を得た本書が、およそ8年ぶりに全面改訂。新規薬剤の追加や、近年の周産期医療の変化を踏まえたトピックスの更新はもちろん、ひと目で知りたい項目が見つかるよう、紙面構成も見直した。内容の充実に加え信頼性と利便性もパワーアップした、最新にして最上の指針。



**日本語版 サンフォード感染症治療ガイド 2022（第52版）**  
菊池 賢 橋本 正良（日本語版監修）  
出版社：ライフサイエンス出版  
印刷版発行年月：2022/08  
年間購読価格：¥3,960、¥4,320、  
¥5,400、¥6,480  
世界の感染症治療の「今」を知るなら、この1冊！日常診療で遭遇しうる、すべての感染症を網羅。臓器ごと、疾患ごとに治療推奨が一目でわかる、感染症治療のグローバルスタンダード。Antimicrobial Stewardship（抗菌薬適正使用支援）は刊行以来の原則。医学生、研修医、一般臨床医、臨床検査技師、薬剤師をはじめ、医療関係者必携の書。



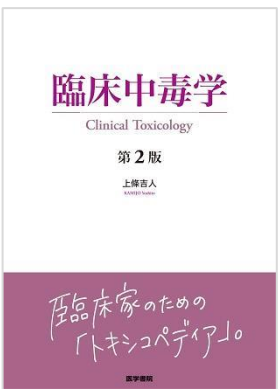
**Evidence Update 2024**  
最新の薬物治療のエビデンスを付加的に利用する  
名郷 直樹（編）  
出版社：南山堂  
印刷版発行年月：2024/01  
年間購読価格：¥3,000（病床数によらず）  
情報は減ることなく、毎年積み重なっていきます。この新しく追加された情報から重要なものを厳選し、整理し、わかりやすくまとめ、現場で役立てていただくことをコンセプトとして、2012年に「Evidence Update」シリーズが登場しました。2024年版では、漢方薬などの4つの治療薬と「押さえておきたいホットトピックス」の項も追加しました。各領域のエキスパートが厳選して執筆。



**visual core pharma 薬物治療学 第13版**  
吉尾 隆 ほかに9名（編）  
出版社：南山堂  
印刷版発行年月：2024/04  
年間購読価格：¥9,000（病床数によらず）  
薬物治療学のスタンダードな教科書の改訂版！病態と主な治療薬の作用点をカラーイラストで示し、標準的な薬物治療を理解するために必要な臨床医学・薬学の基礎知識を解説。さらに第108回を含む過去の薬剤師国家試験の出題内容を反映し、改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムにも対応、薬学生や薬剤師に大いに役立つ一冊。



**臨床薬理学 第4版**  
一般社団法人 日本臨床薬理学会（他編）  
出版社：医学書院  
印刷版発行年月：2017/11  
年間購読価格：¥10,400、¥12,000、  
¥14,400、¥16,000  
日本臨床薬理学会が総力を挙げて編む、待望のテキスト改訂第4版！薬物療法の重要性がますます高まり、新しい知見が日々もたらされる領域だからこそ、コアとなる知識をこの1冊に凝縮。必要事項を網羅しつつ情報は精選し、よりわかりやすくなった。医師、医学生、研修医はもちろん、看護師、薬剤師、臨床検査技師、製薬企業関係者まで、臨床薬理学に関わる医療関係者の定番書。



**臨床中毒学 第2版**  
上條 吉人（著）  
出版社：医学書院  
印刷版発行年月：2023/10  
年間購読価格：¥16,900、¥19,500、  
¥23,400、¥26,000  
臨床家のための「トキシコペディア」。わが国の中毒診療のトップランナーとして精力的に活動を続ける著者が、「臨床現場で役立つ中毒学の成書」をコンセプトに、これまでの自身の経験・知見と最新のエビデンスを惜しみなく注ぎ込んだ決定版。2章以降は中毒物質112物質をジャンル別にまとめ、フローチャートも交えて解説。



**医療現場のための薬物相互作用リテラシー**  
大野 能之（編）  
出版社：南山堂  
印刷版発行年月：2019/08  
年間購読価格：¥3,600（病床数によらず）  
近年では、薬物相互作用（DDI）を考える際にその影響の強度によって相互作用薬と被相互作用薬を分類するなど、DDIの考え方は転換期を迎えている。本書は、DDI予測に有用なCR-IR法とPISCSの使い方から、基質薬や阻害薬・誘導薬として重要な薬剤のDDIマネジメントまで、DDIリテラシーを身につけるための解説書。

※年間購読価格：199床以下、200～399床、400～599床、600床以上の順に記載（病床数別となります。）



**エビデンスに基づく皮膚科新薬の治療指針**

梶島 健治（編集）  
 出版社：中山書店  
 印刷版発行年月：2021/06  
**年間購読価格：¥11,000、¥12,000、  
 ¥15,000、¥18,000**

皮膚科領域でこの数年間に上市された新薬の上手な使い方、あるいは今後上市が確実な新薬の情報を伝授する単行本。疾患別に取り上げる新薬は「どんな薬か」「どこが新しいのか」「対象はどんな患者さんか」をはっきり示し、薬の臨床データのエビデンスや問題点もきっちり記載している。臨床に役立つのはもちろん、皮膚科疾患における新薬の動向と今後の展望も情報として得られる。



**子どものくすり便利帳**

鈴木 康之・長坂 安子（監修） 小嶋 純・米子 真記（編）  
 出版社：南山堂  
 印刷版発行年月：2022/08  
**年間購読価格：¥3,600（病床数によらず）**

小児医療に携わるスタッフが、小児に対してできる限り標準的な治療を提供し、子どもへの適切な服薬指導・ケアをサポートするための情報が詰まった書籍。【特徴】1.小児によく使われる代表的な292の薬剤を五十音順で検索できる。2.小児への適用がない、または添付文書に小児薬用量の明確な記載がない薬剤についても、著者が各種文献をもとに調査した適用量を掲載。3.「粉碎・脱カプセル」「薬の味」「薬を飲む際の飲料との相性」「実寸大イラスト」、など小児臨床で役立つ情報が満載。

**医薬品副作用・安全性ガイドブック**

一般社団法人 日本医薬品安全性学会（監修） 宇野 勝次（編）  
 出版社：南山堂  
 印刷版発行年月：2021/12  
**年間購読価格：¥4,800（病床数によらず）**  
 同効薬の副作用・安全性情報を比較できるなど、医薬品の適正使用の指針を、安全性の視点からチェックできるガイドブック。薬効分類ごとに「共通」と「医薬品各論」の項を設け、禁忌疾患、併用禁忌、警告、高頻度副作用、重大な副作用、過敏症、TDM、腎機能、肝機能、小児、高齢者、妊婦、授乳婦、その他の注意事項について要点を整理し、医薬品の副作用・安全性情報を網羅した。お手持ちの医薬品集に記載されていない、副作用 & 安全性情報を補完する一冊。

2024/09/25

**同じタイトルを継続した場合の年間購読価格**

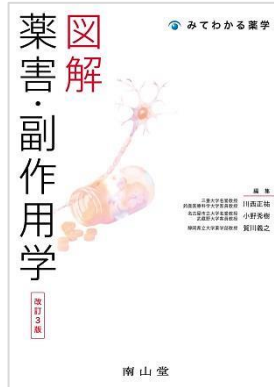
2年目	初年度の70%
3年目	初年度の40%
4年目	初年度の20%
5年目	初年度の10%
6年目以降	初年度の 5%



**腎機能に応じた投与戦略**

重篤な副作用の防ぎかた  
 向山 政志（他監）  
 出版社：医学書院  
 印刷版発行年月：2016/11  
**年間購読価格：¥7,540、¥8,700、  
 ¥10,440、¥11,600**

重篤な副作用を回避するために医師、薬剤師が知っておきたいキーワード、考え方、計算式を、症例をあげながら具体的に解説。NSAIDs、β遮断薬、スタチン、抗菌薬など、処方頻度の高い薬のリスクと注意ポイントについて、実践的な情報を記載した。腎機能を正しく評価するための「10の鉄則」と、圧倒的な情報量の「腎機能別薬剤投与量一覧表」を収録！ 上手な薬の使いかたを導く。



**図解 薬害・副作用学 第3版**

川西 正祐・小野 秀樹・賀川 義之（編）  
 出版社：南山堂  
 印刷版発行年月：2023/04  
**年間購読価格：¥5,000（病床数によらず）**  
 薬害を時系列でまとめ、得られた教訓をわかりやすく解説！ 一目でわかるイラストも豊富で効果的な学習が図れる！ 重大な副作用と頻度の高い副作用がすぐにわかる医薬品リストも収録！ 多くの薬学部で採用されている薬害・副作用学の教科書！



**薬剤禁忌ハンドブック**

梅田 悦生（著）  
 出版社：中外医学社  
 印刷版発行年月：2018/09  
**年間購読価格：¥5,280、¥5,760、  
 ¥7,200、¥8,640**

医薬品の禁忌項目には細心の注意を払うべきだが、膨大な薬品数があるなか、それぞれの禁忌を調べるのは大変な労力を要する。本書では、添付文書よりさらに厳密に記載されている「医薬品インタビューフォーム」を精読し、整理・分類して1冊にまとめあげた。薬剤は厚労省が開示するNDB資料にあるものを基本的に掲載。資料にないものも重要な薬は収録した。薬剤処方時の煩わしい禁忌チェックから解放される、福音となる1冊。



**これだけは気をつけたい！ 高齢者への薬剤処方 第2版**

今井 博久（編集）  
 出版社：医学書院  
 印刷版発行年月：2024/01  
**年間購読価格：¥5,720、¥6,600、  
 ¥7,920、¥8,800**

これだけは気をつけたい！  
 米国Beers Criteriaの日本版が、最新の医薬品情報を盛り込み初版から10年ぶりに改訂。超高齢社会の今、高齢者への適切な薬剤処方の知識は診療科を問わず不可欠。プライマリ・ケア領域の医師・薬剤師を対象に、高齢者のコモンな内科疾患から、腎機能低下時、メンタルヘルスマスまでカバーし、高齢者の薬物治療をアップデートできる内容に大幅改訂。医薬品使用時の重篤度と判定理由を示し、代替薬の使用法や、やむを得ず使用する際の注意点など、診療場面で判断に迷うポイントを厚く解説。



**お問い合わせ先**

株式会社紀伊國屋書店 デジタル情報営業部  
 メールアドレス：online@kinokuniya.co.jp  
 電話番号：03-6910-0518

※ 2年目以降も ¥100,000以上のご契約が前提となりますので、漸減率に応じて、書籍の追加が必要になります。  
 ※ 今回ご紹介した書籍以外にも「速解！ 調剤報酬2022-23」、「ジェネリック医薬品パーフェクトBOOK 第2版」などがございます。